



NY大気汚染「1960年代以降で最悪」 カナダ山火事の煙が到達

国際 | 速報 | 北米

毎日新聞 | 2023/6/8 08:48(最終更新 6/8 08:49) | 有料記事 | 530文字



カナダで続く山火事の煙の影響でオレンジ色にかすむ
ニューヨークの空=2023年6月7日、AP

カナダで続く記録的な山火事の煙が、米東部にまで広がっている。ニューヨーク市保健当局は7日の記者会見で、市内の大気汚染レベルは「1960年代以降で最悪」だとし、市民に不要な外出を控えるよう要請した。一時的に空の便に影響が出たほか、米大リーグの試合も延期された。

ニューヨーク市は、高齢者や子ども、呼吸器系の疾患がある人は特にリスクが高いとして、外出が必要な場合は、密着性の高い高性能マスクの着用を推奨した。中心部マンハッタンでは7日の日中、空がくすんだオレンジ色に染まり、煙のような臭いが漂う中、新型コロナウイルス対策ではほとんど着用しなくなったマスク姿で歩く人の姿が目立った。

米CNNによると、米連邦航空局は「視界不良」を理由にニューヨーク行きの航空機を一時的に制限した。米大リーグ・ヤンキースの本拠地ニューヨークのヤンキースタジアムで7日に予定されていた試合も延期された。

カナダでは今年、観測史上最悪のペースで山火事が起きている。カナダメディアによると、7日までに国内で2300件以上発生し、焼失面積は平年の同時期の10倍以上に達した。森林管理当局の担当者は、気候変動によって山火事の頻度と強さが増しているとの見方を示している。【ニューヨーク八田浩輔】